長野松代総合病院

医師研修案内

Nagano Matsushiro General Hospital

2026

JA長野厚生連

長野松代総合病院

病　院　理　念

地域社会を背景とし、環境にも配慮した、安全で良質な医療への、いきいきとした挑戦

基　本　方　針

1.質の高い愛のある誠実な医療・保健・福祉事業の推進による社会への貢献
2.人と人との信頼の創造と、患者・医療者間の権利・義務の遵守
3.現場からの持続的研究（RESEARCH）にもとづいた医療（CARE・CURE）の実践

全身を診よう
患者を診よう
診療はそこからはじまる
迷ったら、患者のもとに

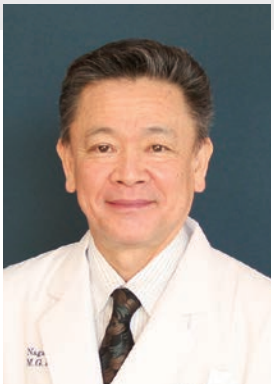
臨床研修センター

臨床研修管理委員長
（院長）
宮原　隆成

初期臨床研修・内科
プログラム責任者
酒井　寿明

整形外科
プログラム責任者
北原　淳

総合診療科
プログラム責任者
新井　浩朗



長野松代総合病院では、従来の大学医局でのストレート研修の弊害といわれていた“専門分野以外は診れない医師”の養成ではなく、研修医がまず医師として必要不可欠な基本的な診療の知識、技能、およびふさわしい品位、人格、倫理観などを身につけ、プライマリ・ケアを十分遂行できることを目指したプログラムを作成しています。

医師としての出発点で出会った指導者、環境はその医師のそれからの診療に対する姿勢を決定するとはよく言われることです。診療の基本は、多くの診療スタッフとともに築き上げる「チーム医療」です。医療は、患者さんとともに病院職員全員で成し遂げるものです。当院では、「教えることは学ぶこと」のスローガンで、医師、看護師をはじめとして、薬剤師などの医療技術部、医療事務、管理事務スタッフなど、全職員が医師臨床研修に参加し協力しています。初期研修のスタートから、チーム医療の重要性を体得できるプログラムを用意しています。厚生労働省認定の指導医講習会にも各科専門医が参加して指導法を学んでおり、その専門医が指導医として研修医にマンツーマンで指導しています。

当院はヘリポートも備えた急性期病院で、高度医療を中心に診療を行っていますが、医療療養型の附属若穂病院や診療所も運営しているため、将来専門医を目指す者、家庭医を目指す者どちらにとっても有意義な研修ができると思います。さらに信州大学や地域の基幹病院とも協力し希望者にはまた違った診療内容、たとえばより高度な救急医療などを経験できる用意もあります。

研修医に対する講義、実習は年間を通して行っていますが、各診療科の症例検討会、救急事例フィードバックカンファランス、救急症例カンファランス、CPC、講演会も定期的に開かれています。

また、年に最低1編の医学論文の執筆、1回の病院学会での発表を行ってもらっています。その指導も、日常的に行われており、将来、医師として必ず必要な研究面での基本的な技術も研修中に習得できます。積極的な研修医の中には全国学会で発表したり、学会誌に採用された例も多数あります。

当院での研修は医学・医療だけではなく、職員旅行・医局研修旅行などリフレッシュできる行事も充実しています。当院で初期研修を開始しませんか。指導医をはじめ全職員で待っています。

統括院長　**瀧澤　勉**

プログラム責任者より

長野松代総合病院は長野市南部にある松代町にあり、長野市を中心とする長野県北信地区約50万人を対象医療圏とし、急性期から慢性期、さらには在宅医療までを途切れることなく提供している、地域医療の基幹病院です。その病院群は、屋上ヘリポートを有し25診療科、365床の本院と医療療養型である附属若穂病院120床の総計485床に2か所の診療所も有する構成となっています。

初期研修は当院の使命の一つと心得て、「教えることは学ぶこと」を研修スローガンに臨床研修管理委員長・プログラム責任者のもとで、30名を超える指導医講習会修了医師を中心に医療スタッフ全員が指導に参加しています。当院が掲げる初期研修理念「迷ったら患者さんのもとへ」は医師としての基本です。当院医師全員の規範となっています。新専門医制度については、当院は内科・整形外科・総合診療科が基幹病院です。

初期研修医は、長野県由来の先生ばかりでなく、全国より応募があります。現在までに、管理型75名、信州大学との協力型29名の総勢104名が当院での研修を終え、信州大学のみならず、全国にその活躍の場を広げるべく巣立っていきました。

診療実績では、急性期医療として救急車は年間2,000台程度の2次救急を行っています。また、各診療科の垣根が低いため、スムーズな連携が図れます。研修医に対する症例検討会、レクチャー、CPCなどが定期的に開催されますが、特記すべきは長野松代総合病院学会での発表と長野松代総合病院医報への投稿です。この医報はISSN（国際標準逐次刊行物番号）登録されております。

初期研修は、何十年にもわたる医師人生の基礎を作る期間です。今後専攻する診療科以外の知識は、この2年間で完結するといっても過言ではありません。また、この2年間の研修で出会った指導者と仲間は、かけがえのない財産になるはずです。この2年間を私ども長野松代総合病院で研鑽を積まれることを是非お勧めします。

副院長　酒井　寿明

長野松代総合病院 初期臨床研修プログラムの特徴

地域に根ざした医療

長野県厚生農業協同組合連合会の病院として、開設より70年、地域に密着した医療とともに高度先進医療も積極的に取り入れ、地域住民の福祉に貢献しています。

健診活動による健康増進・疾病予防、先進の医療機器・設備を使った高度医療、救命救急医療（屋上ヘリポート完備）、高齢者・在宅ケアを含む総合保健医療まで幅広く実践しています。この特徴を最大限生かした初期研修をプログラムに組み込んでいます。

オーダーメイドのプログラム

厚生労働省で定められた研修基準に基づき、その範囲内において**研修医の希望と将来の進路に最大限配慮して作成した研修ローテーションによるオーダーメイドのプログラムです。**

また、同じ時期・同じ診療科に複数の研修医が重なることのないよう配慮していますので、指導医とマンツーマンで密度の高い研修ができます。

プライマリ・ケアから2次救急まで

救急外来では、1年目は副直を行い、上級医とともにプライマリ・ケアから2次救急まで多くの症例を経験することができます。2年目は各診療科のバックアップ体制のもと、一人で当直をこなせる力を身に付けます。

将来専門研修に進んだ際にも「全身を診ることができる」医師を育成するため、2年間の初期研修中はできるだけ多くの症例を経験し、専門医による講義を受けるなど、高い医療知識・技術が習得できるよう全力でバックアップします。

臨床に根ざした研究教育の土壌

論文作成、症例のまとめ方や発表報告の仕方。市中病院の研修ではウイークポイントになりそうですが、当院の得意分野です。35年以上前から院内で学会を行い、研修医には論文作成と発表を行ってもらっています。医学雑誌『長野松代総合病院医報』への掲載を行うとともに、国内外の学会での発表や学会誌への投稿の機会もあり、学会での発表に関する出張には補助も行っています。

臨床医師としての姿勢である「臨床に力を入れる環境下での研究の大切さ」を体感してください。

顔の見える関係

大きすぎず、小さすぎず、程よい規模の病院です。医師や看護師をはじめとしたすべてのスタッフとの、“顔の見える関係”に支えられた研修ができます。また各診療科の間には垣根がなく、風通しがよいのでコンサルトが容易です。ローテーション中か否かに関わらず、どの診療科の医師にも指導を仰ぐことができます。

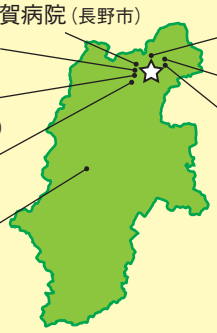
熱心な指導医

指導医それぞれが意識を高く持ち、厚生労働省指定の指導医講習会を積極的に受講しており、現在までに指導医の90%以上が受講しています。また指導医には各種専門学会において指導的役割をもつ医師が多くいますので、質の高い研修ができます。

大学病院から市中病院まで

当院のプログラムは長野県北信地方を中心とした長野県内の協力病院と連携しており、施設それぞれの役割に応じた研修を行うことができます。特に症例が不足する分野については、それを補うための協力体制も整っています。大学病院や市中病院など異なる性格を持つ施設で研修することで、単一病院の研修では得られない、幅広い経験を積むことができます。

協力病院



研修プログラム　～ 2026 年度プログラム ～　【定員 6 名】

長野松代総合病院初期臨床研修プログラム【定員 5 名】

「全身を診よう　患者を診よう　診療はそこからはじまる　迷ったら患者のもとに」を臨床研修の中心に、実践力のある医師を養成するプログラムです。

1年次は、内科（呼吸器、消化器、神経内科、総合診療科）24週、外科6週、小児科4週、麻酔科4週程度の研修を行います。12週ある選択期間は、整形外科、脳神経外科、形成外科、放射線科を中心に研修を行い、救急疾患に対応できる基本的手技を身に付けます。

2年次は、協力病院にて産婦人科4週、精神科4週、地域医療4週を行います。40週ある選択期間は、長野松代総合病院だけでなく信州大学が標榜する診療科からも選択が可能で、希望により将来専攻を志望する診療科を中心とした研修を行うことができます。志望する診療科の研修については、プログラム責任者との協議によります。

オリエンテーション（2週）

1年次		内 科（24週）			麻 酔（4週）	小 児（4週）	外 科（6週）	選 択（12週）
2年次	精 神（4週）	産 婦（4週）	地 域（4週）	選 択（40週）				

※順不同

研修先が選べる！
各協力病院から研修先を選択できます

産婦人科：信州大学医学部附属病院／南長野医療センター篠ノ井総合病院
精 神 科：長野松代総合病院／信州大学医学部附属病院／北信総合病院／鶴賀病院／篠ノ井橋病院
小 児 科：長野松代総合病院／南長野医療センター篠ノ井総合病院／北信総合病院
地域医療：附属若穂病院／愛和病院／新生病院

一般外来研修

高齢化社会では、臓器中心ではなく、患者中心の全人的医療を提供することが重要となります。総合診療科では、基本となる「身体診察法」「臨床推論法」「よく診る症候の鑑別診断トレーニング」「医療面接トレーニング」などを中心に研修を行います。上級医の指導のもと初期研修医が問診から治療までの一連の診療を主体的に行う外来研修を、週2～3回実施しています。

一般外来研修実施診療科：総合診療科／小児科／地域医療

救急研修

当院の救急研修は、特定の疾患、領域、年齢に関わらず、緊急性の高い病態に対する初期救急対応ができるようになることを目標に、麻酔科4週と2年間の日当直を通して行います。麻酔科では気道確保、気管挿管、静脈路確保など医師として必須の基本的手技を習得するほか、日当直では1年次に副直、2年次に主直として患者さんのファーストタッチを担当します（月4回程度）。なお、日当直時は各科拘束医師、スーパーバイズ医師のバックアップのもとで診療を行います。

長野松代総合病院地域医療重点プログラム【定員 1 名】

地域医療に貢献

地域医療に従事することを重視する医学生を対象としたプログラムです。

基本のプログラムに加え、医師少数スポットである長野県飯綱町に位置する飯綱町立飯綱病院にて12週間の地域医療研修を行います。

オリエンテーション（2週）

1年次		内 科（24週）			麻 酔（4週）	小 児（4週）	外 科（6週）	選 択（12週）
2年次	精 神（4週）	産 婦（4週）	地 域：飯綱病院（12 週）	選 択（32週）				

※順不同

病院概要

病床数（485床）

本院 365床（一般317床、回復期リハ44床、感染4床）
附属若穂病院 120床（医療療養型）

診療科目（25診療科）

内科／心療内科／精神科／神経内科／呼吸器内科／消化器内科／循環器内科／アレルギー科／リウマチ科／小児科／外科／整形外科／形成外科／脳神経外科／呼吸器外科／心臓血管外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／歯科口腔外科

専門外来

- **内　　科**／糖尿病代謝外来、糖尿病教室、エイジングケア診療
- **呼吸器内科**／在宅酸素療法外来、禁煙外来、睡眠時無呼吸外来
- **消化器内科**／ダイエット診療
- **小 児 科**／思春期漢方外来、アレルギー外来、予防接種外来、思春期専門外来
- **外　　科**／乳腺外来、内分泌（甲状腺）外来、ヘルニア（脱腸）外来、消化器がん外来
- **整形外科**／関節外科外来、痛風外来、手の外科外来、脊椎外来、スポーツ外来、一般外傷外来
- **形成外科**／難治性潰瘍・爪外来、美容外来、まぶたの外来
- **脳神経外科**／脳腫瘍外来、てんかん外来、脳卒中外来、頭痛外来、物忘れ外来
- **心臓血管外科**／下肢静脈瘤外来
- **皮 膚 科**／アレルギー性皮膚疾患外来、乾癬外来
- **泌尿器科**／前立腺外来、尿失禁外来
- **産婦人科**／婦人科腫瘍外来、更年期外来、思春期外来
- **耳鼻咽喉科**／補聴器外来
- **眼　　科**／白内障外来、緑内障外来、黄斑外来
- **麻 酔 科**／ペインクリニック（疼痛外来）
- **歯科口腔外科**／インプラント外来、顎関節外来

肺がんセンター／血液浄化療法・透析センター／消化器病センター／消化器内視鏡センター／人工関節センター／乳腺・甲状腺センター／外来化学療法センター／がんサポートセンター／顎機能再建・インプラントセンター

指導体制の充実

採血手技研修会

モーニングレクチャー

上部消化管内視鏡検査研修会

FAST研修会

研修生活を円滑にスタートさせるため、研修開始直後にオリエンテーション研修を行ったり、研修医が知っておくべき基本知識技能について各種レクチャーを開催しております。また、4～8月は各科専門医による実践的講義「モーニングレクチャー」を毎週開催しています（朝食付き）。

■医療安全管理体制について	■小児初期救急充実研修会	■モーニングレクチャー	
■診療録の書き方について	■救急隊との症例検討会	◉急性腹症について	◉研修医のための画像診断
■外来日当直について	■縫合・結紮研修会	◉研修医のための小児科疾患	◉研修医のための臨床栄養学
■注射・点滴・採血手技研修	■FAST研修会	◉研修医のための精神科疾患	◉研修医のための脳神経外科疾患
■PICC研修会	■ACLS	◉研修医のための耳鼻咽喉科疾患	◉研修医のための産婦人科疾患
■BLSトレーニング	■上部消化管内視鏡検査研修会	◉研修医のための整形外科疾患	◉研修医のための皮膚科疾患
■CPC研修会	■救急症例カンファレンス	◉研修医のための形成外科疾患	◉研修医のための泌尿器科疾患 ほか

救急事例フィードバックカンファレンス

研修医自身が当直で経験した症例について発表し、指導医から診断・治療のアドバイスを受けます。

マンツーマンの実技指導

当院では研修医もチームの一員として病棟回診やカンファレンスに参加するだけでなく、実際に処置を行ったり手術に加わったりします。特に内視鏡は消化器内科のほか総合診療科等でも実技研修を行うため、1年で100件以上経験する研修医もいます。その他にも研修医の技術向上を目的とした各種実技研修会が年間を通じて開催されます。

論文作成・学会発表

研修医は、各担当指導医の下で論文作成に取り組み、症例報告のまとめ方等をマンツーマンで1から指導してもらえます。作成した論文は「長野松代総合病院医報」に掲載されるだけでなく、年に1度、職員の臨床での研究成果を発表する場として開催される「長野松代総合病院学会」にて発表します。もちろん学会におけるプレゼンテーションについても、指導医が丁寧に指導します。

意欲のある研修医には全国学会での発表や学会誌への投稿の機会もあります。

※医学雑誌「長野松代総合病院医報」は ISSN（International Standard Serial Number）も取得しています。

教育研修等認定施設

- ◆臨床研修病院（基幹型）指定
- ◆臨床研修病院（信州大学医学部附属病院の協力型）指定
- ◆臨床研修病院（鶴見大学歯学部附属病院の協力型）指定
- ◆地域密着型臨床研修病院
- ◆信州大学医学部臨床教育協力病院
- ◆日本専門医機構内科専門研修プログラム認定施設
- ◆日本専門医機構整形外科専門研修プログラム認定施設
- ◆日本専門医機構総合診療専門研修プログラム認定施設
- ◆日本地域医療学会地域総合診療専門医専門研修プログラム研修基幹施設
- ◆日本神経学会専門医制度准教育施設
- ◆日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡関連認定施設
- ◆日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ◆日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ◆日本肝臓学会認定施設
- ◆日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
- ◆日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- ◆日本脈管学会認定施設
- ◆日本リウマチ学会認定教育施設
- ◆日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ◆日本乳癌学会専門医制度認定施設
- ◆日本内分泌外科学会・専門医制度認定施設
- ◆日本甲状腺学会認定専門医施設
- ◆日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ◆日本整形外科学会専門医研修施設
- ◆日本手外科学会認定基幹研修施設
- ◆日本形成外科学会教育関連施設
- ◆日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ◆日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ◆日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ◆日本リハビリテーション医学会研修施設
- ◆日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ◆日本ペインクリニック学会指定研修施設
- ◆日本臨床細胞学会認定施設
- ◆日本病理学会病理専門医制度登録施設
- ◆日本歯科専門医機構認定准研修施設
- ◆日本人間ドック学会人間ドック健診専門医研修施設 ほか

先輩研修医からのメッセージ

医師のスタートラインとしてふさわしい充実した研修環境

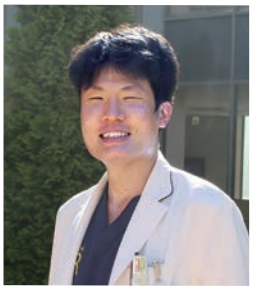
2024年度研修修了
関　優一　先生

当院の研修の大きな特徴として、2年目からの救急外来の日当直があります。最初の頃は不安もありましたが、心強い指導医のもと1年目から実践的に診療に参加することができるので、十分準備したうえで、2年目の研修に臨むことができました。また、内視鏡検査や縫合など、手技もしっかり学ぶことができました。1人で検査を任されることもあり、「1人の医師として必要とされている」とやりがいや責任感も芽生えてきます。2年間の研修が終わるころには、十分な研修を行えたと満足できるはずです。ぜひ、見学に来て当院の素晴らしい研修環境を体験してください。

各々のペースで学べる研修

2024年度研修修了（2025年度長野松代総合病院内科専門研修開始）
宮野　泰輔　先生

当院の研修の魅力は、ゆとりを持ちながら様々な経験ができることです。内視鏡や腰椎穿刺など初期研修ではなかなかできない手技をやらせてもらえます。また、簡単な症例のファーストタッチを任され早くから診療に慣れることができました。重要なのは、負担が過度にならないように配慮されていることです。先生やコメディカルの方々も優しく、余裕のある研修ができています。ゆとりの時間はプライベートに使うもよし。勉強するもよし。自由な時間になります。ぜひ見学に来てください！お会いできることを楽しみにしています！



研修医が主体的にいろいろできる研修

2022年度研修修了
左右田　一宏　先生

長野松代総合病院では、手厚い指導の下、文字通りいろいろなことを経験できます。上部消化管内視鏡検査や腰椎穿刺、ヘルニア手術の執刀などの日常診療だけでなく、年に1編院内雑誌に寄稿することができ、医学論文を書くといったアカデミックなことも経験できます。上級医の先生や、コメディカルスタッフなどの雰囲気も良く、非常に働きやすい環境です。是非一度病院見学に来てください！！

初期研修中の身分および処遇

■身　　分／正規職員（初期臨床研修医）
■給　　与／1年次約6,500,000円（年額）、2年次約7,700,000円（年額）賞与・各種手当あり
■休　　暇／4週8休制、日曜日、国民の祝日、第1.3.5土曜日、年末年始休暇、有給休暇
■社会保険／健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険あり
■住　　居／研修医用宿舎完備（病院至近距離）、住宅手当あり
■賠償保険／病院賠償責任保険に加入しているため研修医も補償対象。
■日 当 直／指導医の指導の下に実施（1年次は副直）
　　1年次：約45回、2年次：約25回。日当直手当あり。
■学会参加／積極的参加を歓迎。学会参加費用支給あり。

研修医用宿舎 ワンルームマンション形式
バス・トイレ・IHキッチン

募集要項

研修医採用についてはマッチング方式に参加します。

■選考方法／書類審査・面接試験
■必要書類／卒業見込証明書、成績証明書、履歴書
　　既卒者の場合には、卒業証書及び医師免許証（写）
　　志望動機を記した作文（800字程度）
■募集期間／5月1日からマッチング中間発表日（前期）
　　マッチング中間発表日からマッチング結果発表前々日（後期）
■選考日程／（予定）2025年 7月3回、8月2回
　　※状況により相談に応じます。
■研修医の出身大学／信州大、帝京大、順天堂大、ワルシャワ医科大、デブレツェン大、上海交通大、日本大、山梨大、東京女子医大、熊本大、群馬大、埼玉医科大、東京医科歯科大、東海大、福井大、高知大、富山大、東北大、新潟大、東京大、秋田大、九州大　他

～昨年はこのような方々にご応募いただきました～
・多くの手技を経験させてもらえると思った
・忙しくも充実した病院で研修したかった
・研修医期間に論文指導をしてもらえるため

研修修了後の進路について

初期臨床研修修了後の進路については、研修医ひとりひとりの将来を親身に考え、各指導医をはじめ、病院全体でバックアップします。

現在までの修了者は引き続き当院での専門研修を選択しているほか、信州大学、北里大学、京都大学、横浜労災病院など多くの病院に進んでいます。

病院で「家庭医マインドをもった総合医」として、診療所や地域で「家庭医」として

地域を支える人材育成を目指しています

長野松代総合病院の位置する松代地区は長野市南部にあり、過疎化と高齢化が進んでいる地域です。全国的に有名な高度先進医療を提供する一方、高齢者世帯の多い地域柄、複数の健康問題をもつ患者や社会的背景の複雑な患者が多いため、総合的なアプローチを必要とするケースが数多くあります。

当院は、長野市東南部と千曲市・須坂市・坂城町・上田市真田町の1.5次～2.5次医療を提供する地域中核病院として、幅広く、包括的な医療サービスを展開し、「家庭医マインドをもった総合医」として地域の住民生活を支えています。

長野松代総合病院　３つの専門研修プログラム

基幹：長野松代総合病院 内科専門研修プログラム

1.消化器、2.循環器・腎臓、3.呼吸器・感染症・アレルギー、4.神経・膠原病、5.内分泌・代謝・血液の5領域をそれぞれ3か月ずつローテーションします。3年目（または2年目）は、連携施設4病院から希望領域の医療を研修します。

当院では、専攻医の皆さんは即戦力と期待されています。循環器は超音波、消化器ではERCP、呼吸器のEBUS-GSなど標準治療が行えます。また、超高齢化社会にも適応できる医療環境です。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科1（松代）			内科2（松代）			内科3（松代）			内科4（松代）		
2年目	内科5（松代）			希望科（松代）								
3年目	連携施設											

連携施設：信州大学医学部附属病院／佐久医療センター／南長野医療センター篠ノ井総合病院／北信総合病院

※プログラム例

基幹：長野松代総合病院 整形外科専門研修プログラム

運動器疾患に関する科学的知識を備え、手技を含めた整形外科分野の基本手技の取得を目指します。

全カリキュラムを脊椎、上肢・手、下肢、外傷、リウマチ、リハビリテーション、スポーツ、地域医療、小児、腫瘍の10の研修領域に分割し、基幹病院および連携病院をローテーションすることでそれぞれの領域を学びます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	長野松代総合病院											
2年目	連携施設（信大）（主に腫瘍・小児）											
3年目	連携施設（飯綱）（主に地域医療・外傷）											
4年目	長野松代総合病院											

連携施設：信州大学医学部附属病院／飯綱病院

※プログラム例

基幹：長野松代総合病院 総合診療専門研修プログラム

日常遭遇する疾病と障害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看取りなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組む総合医を養成する3年間のプログラムです。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総合診療Ⅱ（松代）						内科（松代）					
2年目	総合診療Ⅱ（松代）						内科（松代）					
3年目	総合診療Ⅰ（新町病院／飯綱病院）						救急科（長野日赤/篠ノ井）			小児科（松代）		

連携施設：南長野医療センター篠ノ井総合病院／長野赤十字病院／南長野医療センター新町病院／飯綱病院

※プログラム例

連携施設として専攻医を受け入れています

内科（基幹：信州大学医学部附属病院／長野赤十字病院）
形成外科（基幹：信州大学医学部附属病院／富山大学附属病院／横浜市立大学附属病院／横浜市立大学附属市民総合医療センター）
外科／整形外科／脳神経外科／皮膚科／泌尿器科／耳鼻咽喉科／麻酔科／リハビリテーション科／病理科（基幹：信州大学医学部附属病院）

専門研修中の身分および処遇

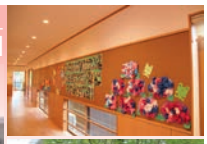
- ■身　分／正規職員
- ■給　与／約10,500,000円（年額・専門研修1年次）JA長野厚生連規定に準ずる
- ■手　当／日当直手当・時間外手当・住宅手当等
- ■休　暇／4週8休制、日曜日、国民の祝日、第1.3.5土曜日、年末年始休暇、有給休暇
- ■社会保険／健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険あり
- ■住　居／宿舎完備（病院至近距離）
- ■賠償保険／病院賠償責任保険に加入しているため専攻医も補償対象。
- ■学会参加／積極的参加を歓迎。学会参加費用支給あり。

安心の女性医師サポート体制

当院には将来のロールモデルとなるような女性医師が多数活躍しております。医師として仕事を続けていく上で、家庭や子育てをどのように両立していったらよいか、当院でのサポート体制について、また今後のキャリア形成等、直接女性の先生にお聞きしたいことはありませんか。

ご希望の方には見学の際に女性医師とお話しする時間をおとりしております。

院内保育所「パオパブのおうち」



※見学・実習は随時受け付けており、院内に宿泊施設も完備しています。期間や内容についてご要望がありましたらお気軽にご相談ください。

をチェック！！ 長野松代総合病院　臨床研修医サイト 検索 いいね！

Web説明会やってます！

お問合せ、見学・実習の申込はこちらへ

長野松代総合病院 臨床研修センター

TEL 026-278-2031　FAX 026-278-9167

E-mail　rinken@hosp.nagano-matsushiro.or.jp

U R L　https://www.nagano-matsushiro.or.jp/